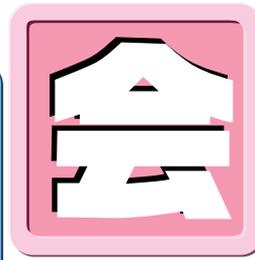




ながはま



Vol.22

平成23年7月15日発行
発行：長浜市議会
編集：議会だより編集委員会

だより



7月1日の「琵琶湖の日」、自治会や各種団体60団体、約1,600人が参加し「琵琶湖一斉清掃」が行われました。

平成23年6月定例会を5月30日から6月17日まで(19日間)の日程で開催いたしました。

常任委員会報告	2頁
特別委員会中間報告	3頁
議員個人による主な質問事項と答弁内容	4～9頁
議案等審議結果	9頁
小学生の本会議見学、編集後記	10頁

常任委員会報告

各常任委員会では、今定例会で付託された議案12件について審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

防災備蓄品等の購入等を審議

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、平成二十三年度一般会計補正予算等七件であり、慎重審議の結果、いずれも可決・承認すべきものと決しました。

▼議案は、専決処分事項の承認二件、一般会計補正予算、過疎地域自立促進特別事業基金条例の制定、支所設置条例の一部改正、工事請負契約二件です。

▼専決処分事項の主なものは、震災支援費と新庁舎実施設計費、補正予算の主なものは、びわ支所のリユートプラザ内への移転費用やびわ公民館改築費用、災害備蓄品（飲料水・毛布等）の購入、防災無線の統合費及び高月中学校整備事業等です。

条例制定及び改正の主なものは、過疎地域自立促進計画に掲げる事業の費用のための基金設置に伴う条例制定ほか一部改正一件です。

工事請負契約は、神照小学校校舎増築、西黒田公民館改築にかかるとの契約二件です。



リユートプラザを現地視察

保健福祉複合施設整備計画提示

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、専決処分事項の承認二件、平成二十三年度一般会計及び長浜病院事業会計補正予算、長浜市税条例の一部改正の計五議案であり、慎重審議の結果、いずれも可決・承認すべきものと決しました。また、付託議案審査前に、今年四月に開園したレイモンド長浜保育園の視察を行いました。



レイモンド長浜保育園を現地視察

▼議案審査後、保健センター・しょうがい児（者）支援施設等保健福祉複合施設整備計画の概要についての説明を受けました。長浜市小堀町に平成二十五年下半期のオープンを目指し、市民の健康を守る保健・しょうがい児（者）支援・地域医療連携・市民参加型健康づくりを基本理念とした、保健としょうがい福祉に係る市民サービスの拠点とした施設整備計画が進められます。

▼「おたつしゃ交流事業」の実施概要の説明を受けましたが、委員から様々な意見が出され、六月十七日定例会終了後に再度説明を受け、皆さんに喜んでいただける事業となるよう、次年度以降さらに改善するよう要望しました。

土木事業・長浜駅周辺整備事業を審査

産業建設常任委員会

当委員会では、平成二十二年度から着手されている、月出地区急傾斜地崩壊対策事業について、現地で説明を受け確認した後、付託を受けた平成二十二年特別会計補正予算、一般会計補正予算及び平成二十三年度一般会計補正予算の議案を審査し、慎重審議の結果、いずれも可決・承認すべきものと決しました。

案件の概要は次のとおりです。



西浅井町月出地区急傾斜地崩落現場を現地視察

▼平成二十二年一般・特別会計補正予算は、長浜新川の管理道路用地の購入費用、雨水渠建設関係事業です。

▼平成二十三年度一般会計補正予算は、長浜駅周辺整備事業に関して、地域の特性に応じた良好な都市環境を形成するため、住民等の意見を反映し、きめ細かなまちづくりのルールを定める地区計画の、素案作成に関する事業です。

特別委員会中間報告

今定例会最終日の6月17日に、各特別委員会から調査・検討中の事項についての中間報告が行われました。主な内容は、次のとおりです。

議会基本条例検討特別委員会

当特別委員会は、平成二十二年第三回定例会において、議会基本条例の検討・調査及び研究を行うため十名の委員を持って設置され、十四回の委員会、研修会の開催、伊賀市議会への先進地研修等を実施してきました。

議会は二元代表制の一翼を担い、行政機関の事務執行の監視、市民の意見を市政に反映させた政策の立案や提言、公正・透明で分かりやすい情報の積極的発信など、果たすべき役割や責務は、特に地方分権一括法施行以来、一層重要性を増してきています。

議会基本条例は、分権時代にふさわしい地方議会としてあるべき姿、議会及び議員の活動に関する基本理念等を明文化することにより市民福祉の向上を目指していくものです。これまでの当市議会運営の見直しを図りながら、今後も信頼される長浜市議会を目指していくため、市民の皆様のご意見を十分に汲み上げながら、条例の検討を重ねてまいりたいと考えています。



伊賀市視察

鳥獣害対策特別委員会

当特別委員会は、平成二十二年第三回定例会において、獣害による農作物の被害や竹生島のカワウなど鳥獣害に対する対策について調査、研究等を行うため八



竹生島のカワウ被害を視察

名の委員をもって設置され、市内四箇所で見守り隊の現地調査、東近江市へのモニタードックによる追い払いの先進地視察、竹生島と葛尾崎へのカワウ被害の現地調査等の研究を重ねてまいりました。調査研究の結果、集落毎の事業だけでは連続的・効果的な対策とはならず被害が集中していること、住民の高齢化等により電気柵や侵入防止フェンス等の新規整備や保全管理が困難な状況となっていることから、当局からの積極的な支援が必要であること、カワウ対策は行動範囲が広域であり全国的な連携が必要であること等を提言したところです。今後も、農林水産業等への被害の防止・軽減のため、さらなる各種被害の防止対策や、長浜市鳥獣害防止対策協議会における事業進捗の確認、検証のため、引き続き調査・研究を行ってまいります。

新庁舎建設特別委員会

当特別委員会は、平成二十二年第四回定例会において、新庁舎の建設に関して必要な事項を調査、研究するため、九名の委員をもって設置されました。静岡県掛川市への行政視察と本日まで五回の委員会を開催し、市民の方にとって、より利用しやすい庁舎とすることや、しょうがい者の雇用、環境にやさしい機能の充実、防災機能の充実した庁舎となるよう活発な議論を重ねてまいりました。特に、東日本大震災の教訓を活かし、建物の耐震性能はもとより、災害時電源確保や災害時のトイレ施設の整備など、様々な意見が出され、これに対して、基本設計では、建物の耐震性能としては、最上位の耐震安全性とし、災害時対策として自家発電設備機能を備え、災害時用のトイレとして、マンホール型仮設トイレを設置できる埋設配管を庁舎敷地内に設置するなど、災害に強い庁舎整備を積極的に推進されたところです。

当特別委員会は、市民にとって、より便利で、利用しやすい庁舎とするため、継続して調査、研究を重ねてまいります。



掛川市視察

個人質問

今定例会では、十八人の議員が個人一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容を、発言順にお知らせします。なお、会派名は質問時の所属で記載してあります。



伊吹 正弘 議員
(新しい風)

江・浅井二姉妹博覧会について

問 来年以降の「ポスト博覧会」に向けて、博覧会実行委員会が構想策定の費用を補正したが、より幅広い市民参加を求めるや否やを問う。

答 観光実態調査を行い観光客のニーズにあった構想を策定したい。地域づくり協議会や地元の顕彰会、歴史の会など地域で歴史や文化、自然を守る活動をされている団体などにも参加いただき、中長期的な観光施策を考える。

長浜市防災計画のうち、原発について

問 有事の際の避難先と原発による市民の心的ストレスのケアを問う。

答 市独自の原子力災害対策に関する任意計画を来年三月までに策定したい。防災協定を締結している六つの自治体と連携強化を図る。市民の不安へのケアについて、何より適切な情報提供が大切で、原子力事業者三者に徹底を要請した。また、放射線対策品や災害備蓄品の充実を図っていく。

成年後見制度について

問 任意後見に係る費用の助成を問う。

答 あくまでも任意の行為であることから、助成の対象外である。



西尾 孝之 議員
(所属会派なし)

市議会有志で被災地に送った支援物資について

問 なぜ、市と議会が一丸となって支援物資を集められなかったのか問う。

答 震災当初は、被災地の支援要求状況や被災地での物資受け入れ態勢が整わず、せっかくの市民の厚志が適正に生かされないことも予想されることから、まずは義援金の募集、被災者受け入れ態勢の整備を進めることとした。



びわ中学校体育館に集められた支援物資の仕分け作業を行うびわ中学校生徒のみなさん

災害対策の見直しについて

問 東日本大震災を教訓に、どのように災害対策を見直すのか問う。

答 避難者数・倒壊家屋数といった災害想定の見直しや避難所の見直しを行い、それに伴い不足する災害備蓄品等を年次計画で整備する。

除雪問題について

問 旧六町の除雪体制の見直しについて問う。

答 市道の除雪に関しては、旧長浜市に比べ旧六町の委託路線の割合は低く、職員の減少などに伴い、現行の直営体制の維持が困難になっていくことが予想され、今後新たに除雪作業に協力いただける業者の調査や検討を進めたい。



松本 長治 議員
(新しい風)

都市住民の移住による地域の活性化について

問 集落機能の維持や、空き家や空き地の活用に向けた移住者の受け入れについて問う。

答 移住希望者と受け入れ側、双方の不安を取り除くよう、民間組織と連携し情報発信などに取り組んでいく。

問 今年の秋に予定されている、「移り住むなら滋賀県・湖北 田舎暮らしフェスタ2011」のサポートについて問う。

答 開催に向け、本市として主体的にかかわっていく。また、併せて農村部への体験型観光を推進していく。

災害に備えた基盤整備の重要性について

問 災害時、主要連絡道路の複数路線化の必要性から、県道西浅井余呉線の開設と県道杉本余呉線の改修工事の必要性について問う。

答 東西軸となる主要道路の整備が重要である。国県要望、さらに滋賀県の道路整備アクションプログラムの見直しを強く要望していきたい。



杉本トンネル (県道杉本余呉線)



柴田 光男 議員
(新しい風)

市内河川の大雨水洪水被害防止対策について

問 現状を問う。

答 特に市街地における洪水被害の危険性が顕著となっている。

雨水渠整備等により、浸水被害防止のための整備を進めている。

問 対策を問う。

答 既存河川の改修や維持修繕を進め、県管理の河川、米川や鬼川、大井川については治水



大井川の現状

対策の検討と、第2大井川整備事業の推進に向け、県営土地改良事業としての採択を受けるため、農林部局にて準備調整が進められている。地域との協働が不可欠であることから、活動の支援策の充実について検討していく。

放課後児童クラブについて

問 現状を問う。

答 年々希望児童が増える中、各小学校とも手狭な状況で、余裕教室の確保が難しい。神照のたんぼぼクラブの今後については、神照小学校増築工事完了次第、新しい校舎へ移転予定である。

問 課題と今後について問う。

答 開設場所とスタッフの確保が課題であり、地域での受け入れを視野に、必要とされるサービスが提供できるように運営していく。



中畠 康雄 議員
(新しい風)

長浜市のシンボルについて

問 地域の連帯感を強め、合併して心を一つにするため、市のシンボル・市民を元気づける「市の木・市の花・市の鳥・市の歌」の設置について問う。

答 合併後の市民に一体感を醸成する方策として、これらのシンボルを定めることは大変有効であると考えており、市民のニーズを聞きながら検討する。

歴史と文化の薫る「ふるさと長浜」の文化芸術の振興について

問 地域のお宝事業で、どのように全国に誇れる地域資源活用策を作成されるのか問う。

答 エコツアー、グリーンツーリズムなど着地型観光の推進や文化の振興の起爆剤として、地域の活性化につなげていく。

問 江北図書館の重要性と歴史的価値を、どう地域資源として検討されてきたのか問う。

答 貴重な資料の重要性や歴史的価値を充分認識しており、適切に保全・継承・活用していただけるのか財団側と協議する。



江北図書館



落合 武士 議員
(プロジェクト21)

湖北病院の現状と今後の取り組みについて

問 今年に入り整形外科の常勤医師がいなくなり患者の減少、大幅な減収等大変危惧している。医師、看護師確保のための取り組みを問う。

答 県や医大等に幾度もお願いしており、様々な制度を活用しながら努めている。引き続き大学との関係強化や民間の紹介会社の活用等により努力していきたい。

問 厳しい現状の中、今後医療から福祉へのシフト化を懸念しているが、今後の方針を問う。

答 へき地医療拠点病院として巡回診療、国保病院として在宅療養患者に対して訪問診療と訪問看護に取り組んできた。高齢化の進む旧伊香地域になくてはならない医療機関と考える。併設する介護老人保健施設と共に、地域のニーズに応えていく。

問 長浜病院との連携と協力体制について問う。

答 長浜市病院事業運営調整会議を発足し、両病院の改革プランの見直しや事業計画の策定に向け協議を開始した。身近な医療機関で受診できるように、市民の健康を守っていききたい。また、地域住民の方々と課題を共有し、理解をいただきながら取り組んでいきたい。



湖北病院



浅見 勝也 議員
(プロジェクト21)

子育て支援事業の今後について

問 子育て支援事業で注力している点、子育て支援センターの運営状況、利用者ニーズを反映した事例、民間活力の導入、利用者の増加を図るためポイント制の導入について問う。

答 出生前からの父母共同の子育ての取り組みに力を注いでいる。センターの利用は、オール長浜に心がけて各所自由に利用してもらっている。ソフト面でも検討し改善を行っているが、ハード面では「あいあいらんど」の施設老朽化や駐車場問題があり、来年度移転の予定である。ニーズの反映として、砂場の利用時間延長、身長測定の実施、ランチルーム開設等がある。民間活力の導入や、ポイント制の導入についても今後検討していく。

地籍調査事業の今後について

問 メリット、進捗状況、今後の取組体制、計画数値目標の設定、民間委託について問う。

答 土地境界が明確化し、土地取引も円滑化が図られる。市民の経費負担の軽減や課税の適正化、公共時事業計画や災害復旧の一助になる。進捗率は約10%と平均値より低く、事業の推進が必要であるが、新規事業を積極的に推進できる体制ではなく、旧市町時の計画を進めている。事業の目的理解や相互協力を得るため、説明会や研修会を自治会などに対して設ける。最終的な完結目標ではなく、本市直営のため、民間委託は今後検討していく。



竹内 達夫 議員
(日本共産党)

公民館利用の「有料化」はすべきでない

問 公民館は、市民の教養の向上、健康の増進、社会福祉増進等が目的であり、サークル活動が有料化の標的にされている。市民の生きがいを求める活動に制約を加えることになるがどうか。

答 施設の利用者と利用しない方との公平性を保つ上での「受益者負担の原則」の考えに基づき、活動の制約にならないよう配慮する。

県立高校の耐震化を県政の最優先課題に！

問 小中学校の耐震化は八割、県立高校は六・六割と遅れている。「子どもたちの命を守る」ために、県に緊急課題として強力に要請を。

答 「子どもたちが安心して学べる場」を確保するために、前倒して耐震化を進めるよう県に要請する。

市税・国保料の差し押さえが県下でダントツ

問 平成二十二年度の差し押さえ件数は市税・国保料を合わせて千件を越え、金額では二億千五百六十万円余りとなっているが、悪質滞納者でない限り、訪問して生活実態を十分把握し、慎重に対応すべきではないか。

答 厳しい財政状況を踏まえ、法に則り、歳入の確保が至上命題、税の公平性の確保に臨んでいる。

旧虎姫町の市営改良住宅半数が不正入居？

問 ガス爆発で入居者が死亡し、又貸しであったことが判明したが、その後の調査結果はどうか。

答 半数が不正入居の疑いがあり、再調査する。



石田 節子 議員
(プロジェクト21)

原子力防災について

問 緊急時の具体的な避難対策について問う。

答 県も市も、福島原発事故を踏まえて防災計画の見直しを行い、避難対策も作成し、できる限り早く対応する。正確な情報伝達のため、本年度から防災行政無線の統合に着手し、本庁からの一括送信ができる。



同報系防災行政無線操作卓

原子力発電所に近い市北部地域においては、ケーブルテレビ等の既存の情報伝達手段を有効に活用し、子どもから高齢者まで、分かりやすく、すばやい情報伝達を心がける。退避・避難の方法や注意事項、退避・避難場所等の資料など、分かりやすい防災パンフレットを作成する。

問 平時の対応策について問う。

答 四市(長浜・彦根・米原・高島)合同の緊急申し入れにより、発電事業者からメールやファックス等により情報提供がされている。発電事業者との定期的な会合についても、県や関係自治体と連携し、情報共有が図れるように働きかける。原子力災害に対する避難訓練は、福井県が実施されている原子力防災訓練に積極的に参加する。



浅見 信夫 議員
(日本共産党)

地域防災計画の見直しについて

問 福井県の原発に隣接する当市は、福島第一原発事故を受け、国の防災指針の目安である八キロから十キロの「防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲」を超えた対策に迫られている。国の見直し待ちではなく、市の原子力災害対策の任意計画を策定すべきと思うがどうか。

答 県が策定する任意計画と調整を図りながら、来年三月までに情報収集体制、避難計画などを内容とした「原子力災害対策計画」を策定する。

問 湖北及び敦賀半島には活断層が連動、密集している。原子力災害対策にどう反映させるか問う。

答 地震被害対象を柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯に見直すなど、任意計画には可能な限り反映させたい。

集中豪雨対策について

問 市街地では集中豪雨による水害が繰り返されている。米川の治水計画の考えを問う。

答 長浜新川の完成を県に要望するとともに、今年度、県において流域貯留対策を含めた米川の治水対策が検討されており、結果を受けて検討する。

社会保障制度について

問 在宅重度しようがい者通所生活訓練事業「たしい教室」の整備方向を問う。

答 「たしい教室」については、早期に安心して通所していただける恒久的な専門の施設整備に向け努力する。



押谷 憲雄 議員
(所属会派なし)

職員の職務に対する能力向上と評価について

問 昇格試験導入から四年、その成果と課題について問う。

答 成果としては、管理職への昇任に挑戦できる公平な機会が確保され、やる気がある管理職にふさわしい人材を、試験という客観的な判断基準により、公平に登用できることが挙げられる。

課題については、受験しない職員もいることから、管理職としての仕事を進めるとの魅力を高め、職員のチャレンジ精神や向上心を高めていくことが必要であると考えている。

長浜中央公園の今後のあり方について

問 都市公園として今後どのように対応するのか問う。

答 平成二十年十月に施設の老朽化等の理由により市民会館が閉鎖され、閉鎖後は市民体育館の臨時駐車場として利用しているが、日常的には保安と風紀面を考慮し、車両の立入を禁止するため施設している。今後は、未利用部分の公園区域の計画変更と合わせて、現在の公園面積の確保を検討する必要があると考えている。



常時は施設されている旧長浜市民会館
(長浜中央公園)



吉田 豊 議員
(プロジェクト21)

中心市街地活性化基本計画の都市計画について

問 新庁舎のアクセス道路の将来計画を問う。

答 庁舎整備に合わせて、玄関口にふさわしい道路として整備すべく、事業着手していく。

問 長浜駅周辺整備基本構想について問う。

答 多様な交流の結節点となる長浜駅が、都市の中心性を現し、モノやサービスを通じた人の交流の場となるスタイルの確立、快適な住環境の提供をコンセプトとしている。これらをもとに、独自のまちづくりのルールを定める地区計画の策定に取り組み、湖北圏域のメインエントランスにふさわしい、魅力ある都市空間の整備を進める。

長浜バイオマスタウン構想の取組状況について

問 バイオマス利活用推進のため、どのような取り組みをされ、民間企業や団体をどのように支援されるのか問う。

答 地域の資源を地域で利活用する循環型社会の形成、温室効果ガスの排出量の少ない低炭素社会の実現を目指す取り組みを推進するとともに、情報の提供などの支援を行っていく。



長浜駅前周辺



東 久雄 議員

(公明党)

東日本大震災の教訓について

問 災害時でも行政サービスが継続できる業務継続計画（BCP）の策定について問う。

答 災害時の拠点として、新庁舎の耐震性を確保し、今回の震災における被災地の業務継続の実情を考慮しながら、新たな地域防災計画との整合性も含めて、より実効性のある業務継続計画の策定について検討していく。

新エネルギーの導入について

問 原子力発電に頼らないエネルギーの確保（太陽光発電、自然エネルギー）新エネルギー導入について問う。

答 当市は敦賀市と隣接していることから、住民の関心が一層高まっている。このような情勢の中、ソフトバンクの孫社長が「自然エネルギーの推進」を掲げて、全国十箇所程度にメガソーラの建設を行なうと提唱された。それに対して滋賀県が誘致を検討する旨の報道があり、当市としても地球温暖化対策実行計画に基づき、自然エネルギー導入の積極的な施策展開を図るため、メガソーラ誘致に積極的に取り組むべく、先日知事に対して、当市も誘致を検討している旨、申し入れを行った。



余呉町中河内に設置されているモニタリングポスト



竹本 直隆 議員

(新しい風)

長浜市民会館について

問 市民会館解体整備の取り組みについて。現時点では構想はない。

答 跡地利用の構想は。公有財産活用推進本部で引き続き検討する。新しい市民会館建設は必要との認識はあるが。市内には八つの文化ホールがあり、現有ホールで機能を充たしていると考えている。

モニター・アンケートについて

問 理不尽と思われる意見や抗議の件数は。苦情はあるが、不当な意見や抗議はない。

問 学校での対応、対策、研修の取り組みは。ホテルから講師を招聘し、理解と共感の精神に基づいた対応について研鑽を深める。

問 教師への支援体制は確立されているか。専門的な相談員や臨床心理士などを配置し、学校運営協議会や学校支援対策本部などを立ち上げ、地域とともに解決していく体制を進めている。警察や弁護士と連携を行ったケースはあるか。

問 パブリックコメントについて。意見を提出された人数に対しての見解は。意見の多寡だけをもって判断できない。制度は機能しているか。十分機能しておらず、今後工夫をしていく。多くの市民の声を反映する方法は。他の自治体を参考に検討していく。



杉本 敏隆 議員

(日本共産党)

原発とエネルギー政策について

問 日本は世界有数の地震国で、原発は未完成の危険な技術であり、ドイツのように原発ゼロをめざし、自然エネルギーへの転換が求められる。また、福井の原発群から市民を守るには、老朽化原発の廃炉、新増設中止、もんじゅの廃炉、プルサーマル発電の中止が求められるが見解を問う。

答 自然エネルギーなどの転換を考える必要があるが、原子力エネルギーは評価したい。

高齢者スポーツ活動支援と施設整備について

問 高齢者のスポーツ活動は、健康推進・介護予防、人的交流、地域の活気など大きな意義があるが、どのような支援を行っているのか。運動広場の平日利用料金の引下げ、屋外時計の設置、芝生の整備などを検討できるか問う。

答 高齢者のスポーツはたいへん大切だ。利用料金等の形態は今後研究する。屋外時計は検討する。芝生の整備は利用者と協力し改善を図る。

問 子育て支援センターの充実について。旧六町エリアの子育て支援センター「あいあいらんど」の職員が九人から六人に減り苦勞されている。駐車場も大変狭い。改善策を問う。

問 湖北幼稚園の建設について。地元協議が進んでいる。教育委員会の努力は。合意形成を図った上で、努力をしていきたい。



森田 義人議員
(新しい風)

議 案 等 審 議 結 果

第二回定例会（六月）

市長提出議案

問 学校プールの夏休み開放について プールの開放はできるのか。学校はどのように支援されたのかを問う。

答 旧高月町の四小 学校は開放の方向で 取り組んでいる。学 校は、安全確保や施 設管理、保護者対象 の救急救命講習等の 取り組みを行っている。



富永小学校プール

問 高月地域の三つのプールは、学校の敷地内がないのに、その管理を学校に移管している。市民プールとして一般開放できないか問う。

答 合併時の協議により学校プールとしている。合併時の協議により学校プールとしている。

問 ①本庁へ行かなくても北部振興局で全てが済ませられる敏速な対応は可能となるのか。②地域活性化室は具体的に何をやるのか。③庁舎の耐震基準は満たしているのか。

答 ①北部振興局で実施する施策については、企画立案から事業執行まで行なうため、迅速な事業展開が図れる。②地域振興施策の総合企画や辺地・過疎・雪害などの北部地域特有の課題への対応。③北部振興局の置かれている木之本支所は、平成十七年度に耐震診断と耐震補強工事を実施。

第五十一号 専決処分事項の承認を求めることについて

専決第二号 平成二十二年長浜市一般会計補正予算

第五十三号 専決処分事項の承認を求めることについて

専決第二号 平成二十二年長浜市介護保険特別会計補正予算

第五十四号 専決処分事項の承認を求めることについて

専決第四号 平成二十二年長浜市公共下水道事業特別会計補正予算

第五十五号 専決処分事項の承認を求めることについて

専決第五号 長浜市国民健康保険条例の一部改正について

第五十六号 専決処分事項の承認を求めることについて

専決第六号 平成二十三年長浜市一般会計補正予算

第五十七号 平成二十三年長浜市一般会計補正予算

第五十八号 平成二十三年長浜市病院事業会計補正予算

第五十九号 長浜市過疎地域自立促進特別事業基金条例の制定について

第六十号 長浜市役所支所設置条例の一部改正について

第六十一号 長浜市税条例の一部改正について

第六十二号 工事請負契約について

第六十三号 工事請負契約について

諮 問

第二号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

第三号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

意見書案

第一号 鳥獣害対策強化に関する意見書

第二号 鳥獣害対策関連予算拡充等に関する意見書

第三号 原子力発電所の安全確保およびエネルギー政策転換に関する意見書

第四号 放射性物質による汚染防止のための安全対策に関する意見書

第五号 原発からの撤退を決定し、期限を切った原発ゼロのプログラム策定を求める意見書

承認（全員）

承認（全員）

承認（全員）

承認（全員）

承認（全員）

可決（全員）

可決（全員）

可決（全員）

可決（全員）

可と答申（全員）

可と答申（全員）

可決（全員）

可決（全員）

可決（全員）

可決（全員）

否決（少数）

小学生の 本会議見学

長浜北小学校六年生の皆さんが社会科授業の一環として、一般質問が行われた六月九日に、本会議の見学に来られました。
その感想をお寄せいただきましたので、ご紹介します。



私たちのために真剣に考えてくださっているということが心に残りました。全部は聞き取れなかったけれど、地震や津波が起こったことで、長浜市はちゃんと対策をしているかという話し合いをされていました。私は、今後のことまで考えてくれていたということがすごくうれしかったです。

です。私たちは、当たり前のように生活をしているけれど、市議会を見学して、私たちの知らないところでいろんなことを質問したり、答えたりされていました。感謝したいです。私も改めて、しっかりと勉強しようと思いました。

傍聴席に入って、たくさんの方が話し合っているのを見ました。話の内容は、東日本大震災後の被災された地域の復興などの話し合いでした。難しいことばかり言っていて分からないところもあったけど、真剣に話し合いをしているのはすごく伝わってきました。傍聴席はすごく静かでした。議員さんたちは、話の内容をしっかりと考えていてくれることが分かりました。

「モンスターペアレント」や「いじめ」など、学校に関する話を話されていて緊張しました。市長さんは、見たことがありました。たくさん議員さんがいてびっくりしました。議長さんはとても真剣な表情で聞いていて、市のことをよく考えておられるんだなと思いました。こんなふうに市議会を見学する機会があつて、うれしかったです。



私たちは六月九日に市議会を見学に行きました。私たちが行ったときは、ちょうど休憩の時間だったので、議員の人たちがいる赤いじゅうたんの上にながらせてもらいました。そこはまるでテレビで見えるような小さな国会でした。議員の人たちという話しました。そこではじめて知ったこと、市議会のことなどいろいろ教えていただきました。これから市議会でもっと長浜市を良くして欲しいです。そして、私もいつか市議会に協力したいです。



編集後記

六月議会に、未来の長浜を担ってくれる子どもたちが、社会見学の一環として長浜市議会を傍聴してくれました。短い時間でしたが、議場にて議会の仕組みなどの説明を、楽しそうに一生懸命学んでいた姿がとても印象的でした。

将来の長浜市を、この子どもたちに胸を張って託せるよう、しっかりと市政をエックしなければなりません。議員一人ひとりが学びを深め、情熱を持って政策議論を交わし、住んでよかった長浜・住み続けたい長浜の実現に向け、努力しなければならぬと、改めて感じました。

ながはま市議会だより
編集委員会

一般質問の録画映像についてはインターネットで見ることが出来ます。
<http://www.gijiroku.net/city.nagahama-vod/>